

授業科目名	特修 I (幼児体育演習)		担当教員名	安井 嘉佑
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目	
必修-選択/単位数	選択 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独	
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。	
授業の概要及び全体目標	子どもたちの、発育発達状況を考慮し、各年齢に応じた運動遊び(ボール・フラフープ・マット・跳び箱・サーキット・ごっこ遊びなど)を紹介し、実践する。 また、幼児体育の補助方法も学生同士で実際に実践し様子を感じ取る。			
到達目標	各年齢に応じた運動遊び(ボール・フラフープ・マット・跳び箱・サーキット・ごっこ遊びなど)を紹介し、実践する。 (1)コミュニケーション能力の習得 (2)技術の理解 (3)技術の習得 (4)指導法の理解			
テキスト				
参考書・参考資料等				
成績評価の方法				
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等				
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	授業内容の説明と指導案の作成指導及び模擬授業の説明			
第2回	指導案を元に準備から指導までを模擬授業として実践する①			(1),(2),(5)
第3回	指導案を元に準備から指導までを模擬授業として実践する②			(1),(2),(5)
第4回	指導案を元に準備から指導までを模擬授業として実践する③			(1),(2),(5)
第5回	指導案を元に準備から指導までを模擬授業として実践した内容映像によって確認。をフィードバック			(1),(2),(3)
第6回	模擬授業の映像を確認後フィードバックし改善点など見直す			(1),(2),(3)
第7回	模擬授業の内容などについて改善点や見直し点からグループにてディスカッション			(1),(2),(3),(5)
第8回	実施後の完成とされる指導立案の作成			(1)
第9回	活動の企画の説明 企画指導のグループ分け			
第10回	企画種目・進行の作成 活動の指導案作成			(2),(3),(4)
第11回	活動種目・進行の実践・予行			(2)(3)(4)(5)
第12回	活動実施に向けた指導の反省会			(2),(3),(4),(5)
第13回	幼児体育における指導方法の復習及び実践に活用するプログラムの作成			(1),(2),(3),(4),(5)
第14回	幼児体育における指導方法の復習及び実践に使えるプログラムの作成の実施			(1),(2),(3),(4),(5)
第15回	幼児体育における指導方法の復習及び実践に使えるプログラムの作成の実施 作成したプログラムの実施及び改善グループワーク・ディスカッション			(1),(2),(3),(4),(5)